

# つながり

令和6年1月1日発行

Tel:29-5210 Fax:21-3456



## 幸福や生きがい 世代を超えて広がっていく!



文部科学省は、“教育振興基本計画”（令和5年6月16日閣議決定）の中で、今後の教育政策に関する総括的な基本方針として、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げています。

その中で、「ウェルビーイングが実現される社会は、子供から大人まで一人一人が担い手となって創っていくものである。子供たち一人一人が、幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その広がりが一人一人の子供や地域を支え、さらには世代を超えて循環していくという在り方が求められる。」と述べています。 ※ウェルビーイングの実現とは …多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、

地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること

本号では、子供たちの学ぶ学校という舞台上、世代を超えた交流（学び）を展開している「そお小学校」と「修成小学校」を紹介します。

### 11/11(土) 三世代ふれあいフェスタ【そお小】

みんなが集まって食べるのはいいですね。子供の声を聞くと、地域のメンバーも元気です。

〈地域住民〉



自分たちの考えた遊び、大人の方がすごく喜んでくれてとても嬉しかったです。

〈子供〉

牛肉と野菜のお汁です。お餅を入れて最高に美味しかったです。

〈子供〉

餅つきはとても楽しかったです。準備してもらい、ありがとうございます。

〈子供〉

触れ合う機会を作ってもらい、学校に感謝です。安全面はこれからも大切にしたいですね。

〈地域住民〉  
《終了後に行われた学校運営協議会にて》



サツマイモは地域の皆さんと春に植え、先日掘りました。餅つきのお世話は育友会が中心、ふれあい遊びは子供が企画運営。教職員は子供に寄り添いながら活動できました。子供も地域の方も保護者も笑顔で安心しました。

〈藤井教頭〉



### 11/19(日) 三世代ふれあいフェスティバル【修成小】

子供たちは、修成でみつけた「すてき」やはちみつのお店との商品開発など、地域で学んだことを発表しました。手作りおもちゃやレクリエーションを通して、地域の方と子供たちのつながりが深まってよかったです。

〈吉松校長〉



久しぶりに皆さんに出会い、話も出来て楽しかったし、ありがたかったです。

〈地域住民〉

たくさんの大人の方とのレクリエーション、とても楽しかったです。

〈子供〉

異質なものの出会いで、新たな自分に気付くことも地域連携教育の魅力の一つです。時空間を縮める活動を通して、他人の存在が身近となり、優しさ・心地よさ・ありがたさ等を感じ取ったようです。関わりの少ないくなく、ヒト・モノ・コトガラに出会うことで、新しい発見がたくさんあったようです。…子供たちも大人も生き生きとしていました。

